

1 本校の教育目標

長崎県教育方針及び長崎県教育振興基本計画の趣旨をふまえ、本校の校訓である「誠実」「克己」「気迫」の具現化のために

生徒一人ひとりの“ことば”の陶冶をめざし、「学び」と「対話」と「志」を大切にする教育を推進する。【学びの共同体】を中核に、確かな「学力」の育成を通して自己肯定感を醸成し、「生きる力」の涵養に努め、平和で民主的な社会および地域の形成に貢献する人間を育てる。

※「生きる力」＝「自立と共生」の精神に基づく「明日（未来）を生きる希望」をもつことのできる力であり、その具象としての「思考（索）力」（誠実）・「人間関係形成力」（克己）・「実践行動力」（気迫）と位置づける。

- (1) 【学びの共同体】の実践を基盤とし、生徒一人ひとりの「学びの質」を保障することを通して、確かな「学力」（学ぶ力）の育成、他者や自己との「対話」と「志」を大切にする教育の推進に努める。
- (2) 確かな「学び」を中核に、「思考力」・「人間関係形成力」・「実践行動力」の育成を図り、生徒一人ひとりの自己実現に寄り添い、これからの多文化共生社会を「生きる力」の涵養に努める。
- (3) 生徒の内面の形象としての“ことば”を陶冶する「聴き合い、語り合う」学校文化の創造を目指し、他者と協同する経験を通して、自立と共生の精神を養い、自己肯定感を醸成する。
- (4) 教職員が教育の専門家として、相互に学び合い、探求し合うための研修を深める。

2 本年度の努力目標

(1) 命を守る「心の教育」の推進

- ①きめの細かい生徒理解や教育相談体制を充実させ、人間の尊厳に向き合う人権教育、命を守る「心の教育」の推進を図る。
- ②学級経営を基盤として、生徒一人ひとりの「心の居場所」を確保し、仲間づくりを通して、確かな自己存在感の醸成を図る。
- ③「朝の読書」をはじめ、“ことば”をみがく読書活動や文化芸術活動を積極的に推進し、豊かな感性の陶冶と未来を生きる“希望”の創造を図る。

(2) 学習指導の充実

- ①【学びの共同体】における「共同学習」の実践に努め、生徒一人ひとりの「学びの質」を保障し、確かな学力の向上と個々の「志」に基づく進路実現を図る。
- ②【学びの共同体】実践のための組織の体系化と内実の深化を図る。
- ③【学びの共同体】実践における授業研究や公開授業等の職員研修の充実を図る。
- ④生徒一人ひとりの「学び」を中心に据えた教育活動全般を通して、「生きる力」の涵養に努める。
- ⑤ICT機器を利用した遠隔授業による「論理コミュニケーション」授業を充実させ、思考力やコミュニケーション能力の育成を図る。
- ⑥学校裁量の時間（「萌タイム」）を設定し、「学び直し」や「進学補講」等に当て、生徒個々に応じた学力の伸長および進路実現の実践力の養成に努める。

(3) 生徒指導の充実

- ①主体的、自律的に行動できる資質と態度を養い、自ら考える規範意識の獲得をめざす。
- ②体育祭や文化祭等の学校行事において、生徒が主体となって企画運営を行い、協同による創造活動の実践によって、人間関係力の育成を図り、「自立と共生」の精神の獲得を目指す。
- ③清掃活動やボランティア活動を積極的かつ真摯に履行する体験を通して、環境を含めた他者への思いやりや自己の存在感の醸成を図る。
- ④全員部活動制により部活動の活性化を図り、主体的に活動する中で、責任感・思いやり・克己力等の育成を図る。

(4) 進路指導の充実

- ①「探究コース」(進学希望者)と「総合コース」(就職希望者)の選択および指導内容を含め、本校における3年間を見通した「キャリア教育」の体系化を図る。
- ②生徒の「志」を育てる教育に基づいて、生徒個々の進路目標に応じたきめ細かな進路指導を推進し、生徒の「自己実現」の達成を図る。

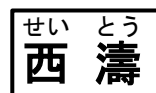
(5) 広報活動の活性化

- ①本校における質の高い教育活動を地域や外部に積極的に広報発信し、本校教育への確かな理解とさらなる信頼を得て、入学希望者の増員を目指す。
- ②学校行事や日頃の教育活動を積極的に地域の人々に開放し、また交流を深めることによって、学校への確かな信頼と地域における「教育・文化のセンター(拠点)」としての役割を推進する。

(6) 職員研修の充実

- ①教職員が教育の専門家として、相互に学び合い、探求し合うための研修を深める。
- ②【学びの共同体】実践における授業研究や公開授業等の職員研修の充実を図る。
- ③学年会を中心とした研修会を基軸に、生徒の学習面・生活面・進路面等における情報の共有と指導について研修を深める。

本校のスクール・アイデンティティ＝



昨年度、創立70周年を迎えた西彼杵高等学校は、県内最後の旧制中学校の流れをくむ伝統校としての礎の上に、生徒の「学びの質」を保障しながら他者と協同し自立と共生の精神を養う【学びの共同体】を導入し、今新たなステージへと確実に歩を進めつつある。

もとより本校には「誠実」「克己」「気迫」という校訓があり、それを具現化するための教育目標や努力目標が策定されているが、それらを包含した「スクール・アイデンティティ」(学校の独自性)を「西濤」としたい。

「西濤」とは「西の方からうねる大きな波」ということであり、【学びの共同体】を中核とした取組により学校改革に邁進する本校の形容として適切であり、時に荒々しささえも秘める若者のエネルギーを象徴するものとしても相応しい。

【学びの共同体】と「生徒会文化活動」によって、日本列島、そして長崎県の西の端から学校改革の、そして教育の理想を求めて大きな波濤となって進みゆく西彼杵高校の現在の姿を表現するものとして「西濤」はまさに最適であるといえる。

以上の理由で、本校の「スクール・アイデンティティ」を「西濤」とする。

スクール・アイデンティティ「西^{せい} 濤^{とう}」のイメージ



西 濤

西の方からうねる大きな波

- 【学びの共同体】により学校改革に邁進する学校の姿
- 若々しいエネルギーに満ちた躍動する若者の姿

収斂

校訓	→	教育目標
誠実	→	思考力の育成
克己	→	人間関係形成力の育成
気迫	→	実践行動力の育成

本年度の努力目標

- (1) 命を守る「心の教育」の推進
- (2) 学習指導の充実
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 進路指導の充実
- (5) 広報活動の活性化
- (6) 職員研修の充実